

24年度ばく露実態調査対象物質のリスク評価結果の報告

- ◆平成25年5月31日、平成25年7月24日「化学物質のリスク評価検討会報告書」公表
「初期リスク評価」が行われた「酸化チタン(ナノ粒子)」、「ナフタレン」、「リフラクトリーセラミックファイバー」で高いリスクが認められ、さらに詳細なリスク評価が必要とされた。
また「詳細リスク評価」及び「リスク評価」が行われた「1,2-ジクロロプロパン」、「ジメチル-2,2-ジクロロビニルホスフェイト(DDVP)」は共通した高いリスクが認められたため、健康障害防止措置を検討すべきとされた。
一方、「三酸化二アンチモン」、「金属インジウム」は情報が不足していることから、今後の調査研究の進展を待って評価することとされた。

